

コメディカル IVUS トレーニングを実施して-アンケート結果から得られたもの-

¹金沢医科大学病院、²金沢医科大学

中川 透¹、大森 政幸¹、高間 俊輔¹、北山 道彦²

【はじめに】循環器領域の検査：治療において、手技の多様化、高度な医療機器の登場など、それらを理解し治療に結びつけていくことが非常に難しくなっています。我々コメディカルも非常に高い知識・技術が求められます。KCC(Kanazawa Coronary Conference)では、術者が IVUS で何を観察し、どう活用しているのかを学ぶために、心カテ室に携わるコメディカルスタッフを対象として、一昨年よりコメディカル IVUS トレーニングコース（基礎、画像の見方、計測）を開催した。【目的】今回のトレーニングコースが満足であったか、アンケート調査を実施し結果、分析をもとに次回のトレーニングコースの質の向上を図る。【方法】アンケートより満足度に影響する要因を読み取り、影響度と満足度を用いたマトリックス分析を行った。質問項目は「セットアップ、トラブルシューティング」、「計測等の実技」、「企画を実施したほうがよいか」、「満足度」それぞれ 5 段階評価を行った。【結果】満足度は 4.3 であった。「セットアップ、トラブルシューティング」、「計測等の実技」、「企画を実施したほうがよいか」それぞれの影響度、個別満足度は 1.45, 3.89, 1.28, 4.05, 1.36, 4.65 であった。【考察】満足度を向上させるためにはさらに企画を実施したほうがよいとの結果となった。また、今回は重点的に「セットアップ、トラブルシューティング」、「計測の実技」に時間を割くべきだと思われた。【結語】コメディカル IVUS トレーニングコースを開催し、アンケート分析を行うことで次回の対策を講じることができた。